

令和4年第10回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和4年10月27日(木)午後1時30分～午後1時50分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 501会議室
- 3 出席委員等
教育長 玉川 良雄
委員 江口 雄二
委員 白木 正博
委員 林 哲人
委員 木佐谷 真理子
- 4 会議に出席した事務局職員
教育部長 河村 貴子
教育次長 今谷 昌博
学校教育課長 藤田 康伸
学校給食課長 小林 政幸
生涯学習振興課長 引頭 康行
図書館長 長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課課長補佐 金子 麻紀
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
(1) 報告第25号 下松市芸術文化功労賞について
(2) 報告第26号 下松市芸術文化振興奨励賞について
- 9 会議の付議の顛末

○**教育長** それでは、会を進行したいと思います、本日の議事録署名委員は、林委員、木佐谷委員でお願いいたします。

- (1) 報告第25号 下松市芸術文化功労賞について
- (2) 報告第26号 下松市芸術文化振興奨励賞について

○**教育長** では、早速ですが議事に入ります。

本日は、2件ございます。報告第25と報告第26号ですが、これについては一括で報告をさせていただきたいと思います。

それでは、(1) 報告第25号、下松市芸術文化功労賞について及び(2) 報告第26号、

下松市芸術文化振興奨励賞について説明をお願いいたします。引頭生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 報告第25号、下松市芸術文化功労賞について及び報告第26号、下松市芸術文化振興奨励賞についてを一括してご説明いたします。

下松市芸術文化功労賞については、昭和61年から表彰しておりまして、市内外において芸術文化の分野で優れた創作活動を続け、市民の模範となり下松市の名誉を高めるなど、永年にわたり下松市の芸術文化活動に特に功績のあった方に対して、市の表彰として授与する賞でございます。

また、教育委員会では、昭和58年から市民文化の高揚を図るため、下松市芸術文化振興奨励賞を設けております。この賞は、芸術文化の分野で高い水準の創作活動を続けている方、長年にわたり地道な芸術文化活動を行う方に対して、表彰しております。

まず、文化功労賞ですが、9月21日に推薦委員会を行い、第37回芸術文化功労賞の受賞候補者を決めました。

4名を下松市長に推薦したところ、正式に決定しております。名前等は、文芸（俳句）部門から清木崇さん、謡曲部門から吉本健一さん、詩吟部門から高木克巳さん、音楽部門から中村眞理さん、以上4名に決定しております。

続きまして、2ページでございます。

芸術文化振興奨励賞です。文化功労賞に引き続き、選考委員会を開催し、その後、教育長決裁により正式に受賞者を決定しました。本年は1名、絵画部門、河谷千穂さんの表彰を決定しております。

各受賞者の履歴や功績等につきましては、本日お配りしております受賞者の紹介の資料、黄色い冊子になっております。そちらを御覧いただければと思います。

令和4年度の表彰式は、11月3日、スターピアくだまつハート・フロアで、市の美術展覧会の表彰式と併せて行います。

あと、学生や生徒の文化振興奨励賞につきましては、また2月に表彰することになっております。

以上で、報告を終わります。

○教育長 それでは、協議をしたいと思います。質問がある方は、挙手をお願いいたします。白木委員。

○委員 これは今まで大体、この芸術文化功労賞は70代の人が多かったと思うのですが、80代の方が2人おられますが、もう少し早く表彰ができなかったのでしょうか。

○教育長 引頭生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 部門にもよりますけれども、推薦をする基準も、それぞれの部門でかなり厳しく設定されているところもあって、なかなかそこにいかないとか。例えば、ある部門だったら、自分で本を出版しているとか。そういう推薦の条件が各部門であるようです。そのため、遅くなると聞いております。

○委員 はい。

○**教育長** よろしいですか。そのほか。ないですかね。（「はい」と言う者あり。）

1件、聞いていいですか。下松市民以外が対象になっています。これは、広く全県下と考えていいのですか。引頭課長。

○**生涯学習振興課長** これは、要綱で「本市に住所を有する者又は本市に所在する団体」が基本になっています。

ただし、市外に住所を有する方や市外の団体でも、市民の模範となるとか本市の名誉を高める、そういった功労がある方は表彰できるとなっております。

○**教育長** ありがとうございます。

そのほかございませんか。

もう一つ聞いていいですか。芸術文化振興奨励賞のほうです。これは1名ですけれど、例年どのぐらいの方、人数が受賞されているのですか。

○**生涯学習振興課長** こちらの資料のほうに、河谷さんの左側のページ、これが例年の状況になっております。

○**教育長** なるほど。推薦された方が何人かいらっしゃって、今年は1名が受賞したということですね。

○**生涯学習振興課長** はい。

○**教育長** 推薦された方は、たくさんいらっしゃったのですか。

○**生涯学習振興課長** 今年は、2名いらっしゃいました。

○**教育長** 2名。はい、分かりました。

そのほかよろしいですか。（「はい」と言う者あり。）ありがとうございます。

それでは、本日の2件の報告議題については終了いたしたいと思います。

～ その他報告・連絡事項 ～

○**教育長** それでは、そのほか報告事項等ございましたらお願いいたします。長弘図書館長。

○**図書館長** 図書館で実施する行事について、お知らせいたします。

11月20日に、第24回図書館振興県民のつどいという行事を行います。お手元にA4のチラシを2枚お配りしているかと思えます。

これは、県の図書館協会が、毎年この時期に開催する行事なのですが、本年度は下松市立図書館で引き受けることにしました。

下松市立図書館が、今年開設70周年、あと、ほしらんの今の図書館になって10周年という、ちょうど節目の年でもありますので、記念行事という意味合いも持たせて、下松市立図書館で引き受けることにしました。

午前中にイベントとして「影絵で楽しむ下松の民話」、図書館のお話ボランティアの方が、今、制作をして上演もすることになっています。

午後からは、開会行事と、あと講演会を行います。

それから、終日通して、パネル展示で「図書館の歩み」を展示をすることにしています。

午後からの講演会についてのチラシを、別に作成をしております。

「矢嶋旧邸を水彩画に残した画家・小林重三」ということで、島の学び舎に今、16枚の矢嶋旧邸を描いた水彩画があるのですけれども、その作者が長らく分からなかったのが、市制施行80周年のときに「秋の夜話」という矢島専平さんが書いた本、随想記を復刻したことが縁となって、この小林重三の研究者の人とつながりました。

この小林重三という方は大体、鳥とか動物とかの絵を描く画家なのですけれども、その小林重三が描いた風景画ということが分かりました。その縁で、今回の講演会を行うことにしています。

今、東洋鋼鈑になっているところに矢嶋邸、豪邸があったのですけれども、下松が工業都市になる前に、久原房之助に土地を売りました。その売る前に自分の邸宅を絵に残しておこうということで、矢島専平が小林重三に依頼をしました。そのいきさつも含めて、小林重三の研究者に講演をしてもらうことにしています。

当日は、この小林重三のお孫さんも、関東のほうから聞きに来たいということで、会場に来られることになっています。

まだ申込みには空きがありますので、興味のある方は、ぜひご参加いただければと思います。

以上です。

○教育長 小林重三さんに関する講演などございましたが、非常に、下松の歴史の重要な部分に関わった方とのつながりの中で、この絵ができたということなのですが、ぜひ、聞きに行っていただきたいと思います。

この小林重三さんについて他に情報がありますか。当日の講演を聞けばいいのでしょうか。長弘館長。

○図書館長 なかなか有名な絵というよりは、図鑑の挿絵を描かかれており、すごく一般的に知られているかという、そうではありませんが、イギリスの大英博物館にもこの小林重三の絵は入っています。それを、今回の園部さんという講師の方は研究されており、見にも行っておられます。少しずつ今、園部さんを中心に掘り起こしている最中と思っております。

以上です。

○教育長 大英博物館に何点かあるわけですね。日本は、どこか美術館で保管しているところはありますか。長弘館長。

○図書館長 まず、島の学び舎に16点あります。

○教育長 これは、すごいお宝かもしれないですね。

○図書館長 そうです。あと、当日も来られる小林重三のお孫さんが絵をたくさん持っておられて、東京の町田市の図書館か博物館か、そこで展覧会をしたりしています。

どこかで所有をしているというよりは、原画を持っているっていうような形で、展覧会を

するときには貸出しをしているそうです。

○**教育長** 長弘館長さんは、いろいろ毎年、新しい方を発掘されたり、歴史的な書物について分かりやすい説明書を作られたりとか、これまでに図書館のアーカイブもつくられました。本当にいろいろ先進的なことをやっつけていらっしゃる。また、詳しくお聞きになりたいときには、図書館に行ってくださいと思います。

そのほか、ございますか。金子課長補佐。

○**教育総務課課長補佐** 11月の行事予定をお伝えします。資料は3ページになります。

11月10日の木曜日に、総合教育会議が市役所の503会議室であります。

定例会は、24日の木曜日、501会議室で予定しております。

○**教育長** そのほかございますか。（「なし」と言う者あり。）

ないようですので、以上をもちまして第10回の下松市教育委員会会議定例会を終了いたします。お疲れさまでした。

午後1時50分終了